

**2021年度  
第1四半期  
決算概要**

**2021年  
8月2日**



# 第1四半期決算ハイライト

## 通期業績予想の達成に向けて順調な実績

連結粗利益

267億円 (前年同期比54億円増、進捗率28%)

連結実質業務純益

134億円 (前年同期比49億円増、進捗率32%)

親会社株主純利益

115億円 (前年同期比41億円増、進捗率39%)

## 当四半期決算のポイント

- ◆ 資金利益は前年同期比5億円減少したものの、前年度第4四半期比では横ばい
- ◆ 非資金利益は、不良債権関連およびバイアウト関連の組合出資損益、GMOあおぞらネット銀行の手数料収益、リテール投資性商品販売等の顧客ビジネスが好調に推移し、前年同期比59億円増加
- ◆ 与信関連費用は、要注意先を中心とした海外貸出の格上げや、米国不動産市場の回復に伴う海外不動産ノンリコースローンの回収による一般貸倒引当金の戻入益の計上等により、20億円の利益

第1四半期配当は、32円/1株当たり (年間配当予想128円の四分之一)

(注) 本資料においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社株主純利益」と記載しております  
金額は、単位未満を切り捨てて表示しております

# 損益の概要

◆ 連結粗利益、連結実質業務純益、親会社株主純利益とも前年同期比好調な実績

(単位：億円)	2020年度	2021年度	B - A		2021年度	
	4-6月期 A	4-6月期 B	増減額	増減率	業績予想	進捗率
<b>連結粗利益</b>	<b>213</b>	<b>267</b>	<b>+54</b>	<b>+25.5%</b>	<b>970</b>	<b>27.6%</b>
資金利益	124	118	-5			
非資金利益	89	149	+59			
経費	-128	-138	-10			
持分法投資損益	-	5	+5			
<b>連結実質業務純益</b>	<b>85</b>	<b>134</b>	<b>+49</b>	<b>+58.2%</b>	<b>425</b>	<b>31.7%</b>
与信関連費用	1	20	+18			
株式等関係損益	10	0	-10			
<b>経常利益</b>	<b>87</b>	<b>156</b>	<b>+68</b>	<b>+78.5%</b>	<b>425</b>	<b>36.9%</b>
特別損益	-	-	-			
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>87</b>	<b>156</b>	<b>+68</b>	<b>+78.5%</b>		
法人税等	-19	-44	-25			
非支配株主純損益	6	3	-2			
<b>親会社株主純利益</b>	<b>74</b>	<b>115</b>	<b>+41</b>	<b>+55.1%</b>	<b>300</b>	<b>38.5%</b>

# 資金利益

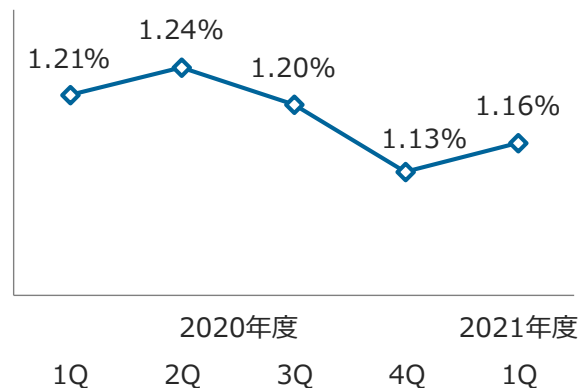
- ◆ 資金利益は、外貨ETFの残高減少に伴う有価証券利息配当金の減少等により、前年同期比5億円減となったものの、前年度第4四半期比では横ばい
- ◆ 貸出金利鞘（貸出金利回り－資金調達利回り）は、前年度第4四半期比3bps拡大

(単位：億円)	2020年度	2021年度	増減額 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
<b>資金利益</b>	<b>124</b>	<b>118</b>	<b>-5</b>
<b>資金運用収益</b>	<b>182</b>	<b>156</b>	<b>-26</b>
貸出金利息	126	108	-18
有価証券利息配当金	54	45	-9
その他受入利息	1	2	+0
<b>資金調達費用</b>	<b>-58</b>	<b>-37</b>	<b>+21</b>
預金・譲渡性預金利息	-15	-14	+1
債券・社債利息	-5	-6	-0
借入金利息	-6	-3	+2
その他支払利息	-6	-2	+4
スワップ支払利息	-24	-10	+13

(注) 費用の減少はプラス表示

	2020年度	2021年度	増減 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
資金運用利回り (A)	1.55 %	1.26 %	-0.29 %
貸出金利回り (B)	1.70 %	1.44 %	-0.26 %
有価証券利回り	1.97 %	1.32 %	-0.65 %
資金調達利回り (C)	0.49 %	0.28 %	-0.21 %
資金粗利鞘 (A)-(C)	1.06 %	0.98 %	-0.08 %
貸出金利鞘 (B)-(C)	1.21 %	1.16 %	-0.05 %

## 貸出金利鞘推移



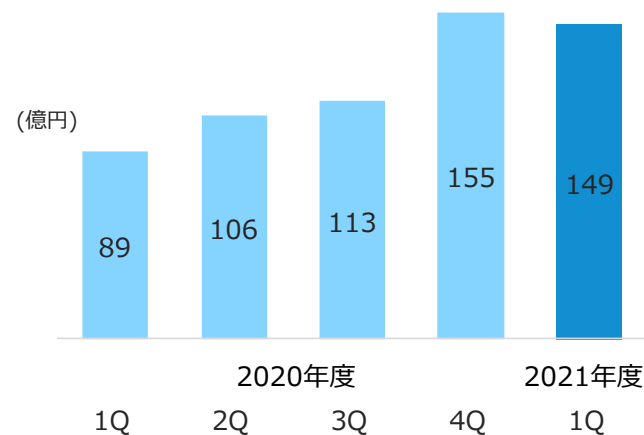
# 非資金利益

◆ 非資金利益は149億円（前年同期比59億円増）

➢ 前年度第4四半期と同水準を維持

(単位：億円)	2020年度 4-6月期 A	2021年度 4-6月期 B	増減額 B - A
<b>非資金利益</b>	<b>89</b>	<b>149</b>	<b>+59</b>
役務取引等利益	19	24	+4
特定取引利益	-7	64	+72
国債等債券損益	79	15	-64
その他業務利益 (除く国債等債券損益)	-2	45	+47
うち、組合出資損益	8	35	+26
(参考) 国債等債券損益の粗利益に占める割合	37.4%	5.7%	

## 非資金利益推移



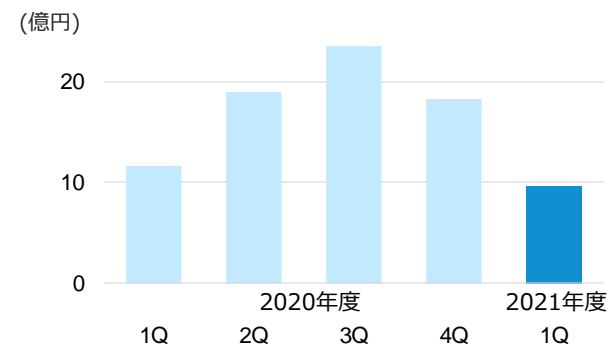
# 非資金利益 — 役務取引等利益・特定取引利益 —

- ◆ 役務取引等利益は24億円（前年同期比4億円増）
  - GMOあおぞらネット銀行の手数料収入の増加等により、堅調な実績
  - 貸出関連手数料は前年同期並み。LBOファイナンス等のパイプラインは増加しており、2Q以降の案件獲得に注力
- ◆ 特定取引利益は64億円（前年同期比72億円増）。顧客ビジネス、トレーディング業務とも好調に推移
- ◆ リテール関連の投資性商品販売利益は、仕組債や投資信託の販売が順調に推移し増加

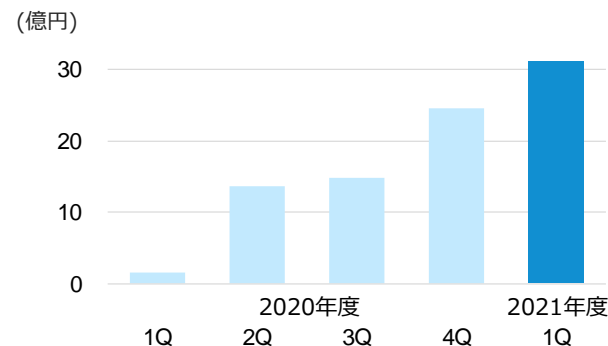
(単位：億円)	2020年度	2021年度	増減額 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
<b>役務取引等利益</b>	<b>19</b>	<b>24</b>	<b>+4</b>
<b>役務取引等収益</b>	<b>25</b>	<b>32</b>	<b>+7</b>
貸出業務・預金業務	12	10	-2
証券業務・代理業務	6	7	+1
その他の受入手数料	5	14	+8
<b>役務取引等費用</b>	<b>-5</b>	<b>-8</b>	<b>-2</b>
<b>特定取引利益</b>	<b>-7</b>	<b>64</b>	<b>+72</b>
<b>リテール関連の投資性商品販売利益</b>			
<b>投信・保険・仕組債等の 販売に係る利益</b>	<b>1</b>	<b>31</b>	<b>+29</b>
投資信託	1	3	+1
保険	0	0	-0
仕組債	-0	27	+28

(注) 投信・保険の販売に係る利益は、役務取引等利益に計上  
仕組債の販売に係る利益は、特定取引利益として計上

## 貸出関連手数料



## 投信・保険・仕組債販売利益

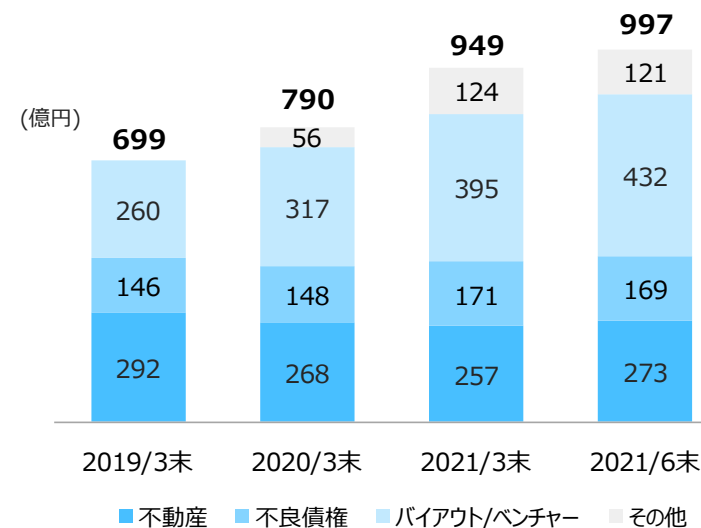


# 非資金利益 — その他業務利益 —

- ◆ 国債等債券損益は15億円の利益（前年同期は79億円の利益）
- ◆ 国債等債券損益を除くその他業務利益は45億円（前年同期比47億円増）
  - ▶ 組合出資損益は、不良債権関連およびバイアウト関連利益が好調に推移し、前年同期比26億円増

(単位：億円)	2020年度	2021年度	増減額 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
<b>国債等債券損益</b>	<b>79</b>	<b>15</b>	<b>-64</b>
日本国債	-	0	+0
外国国債・モーゲージ債	64	-10	-74
その他	15	24	+9
うち、私募投信	9	13	+3
うち、REIT	4	4	+0
うち、外貨ETF	4	-	-4
<b>国債等債券損益を除くその他業務利益</b>	<b>-2</b>	<b>45</b>	<b>+47</b>
うち、組合出資損益	8	35	+26
不動産関連	3	1	-2
不良債権関連	8	20	+11
バイアウト/ベンチャー関連	-4	11	+16
その他	0	2	+1

組合出資残高\*



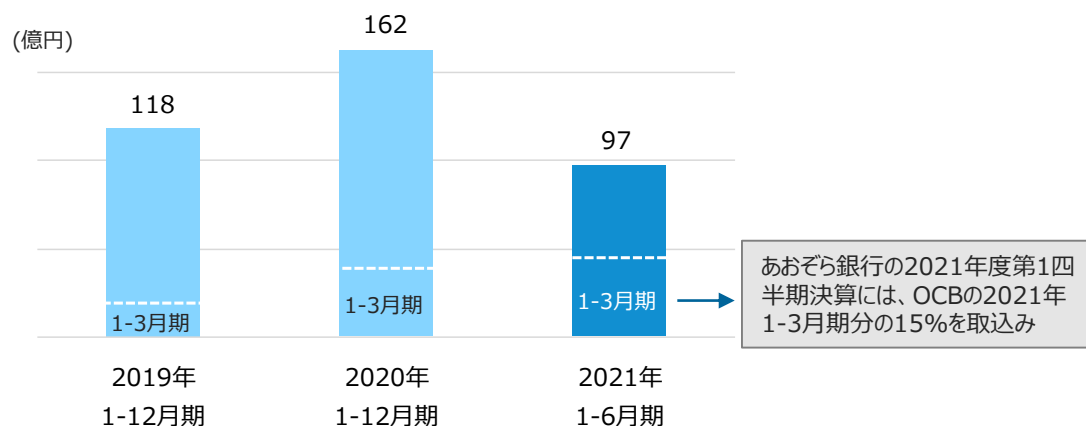
\*管理会計ベース

# 持分法投資損益、株式等関係損益

- ◆ 持分法投資損益は5億円の利益
  - ベトナムOrient Commercial Joint Stock Bank (OCB) の第1四半期 (2021年1-3月期) の当期利益を取り込み
- ◆ 2021年度4-6月期の株式等関係損益は0億円

(単位：億円)	2020年度	2021年度	増減額 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
持分法投資損益	-	5	+5
株式等関係損益	10	0	-10

## OCB当期利益\*



\* 当社HPより抜粋。為替レートは1ベトナムドン=0.0046円を使用



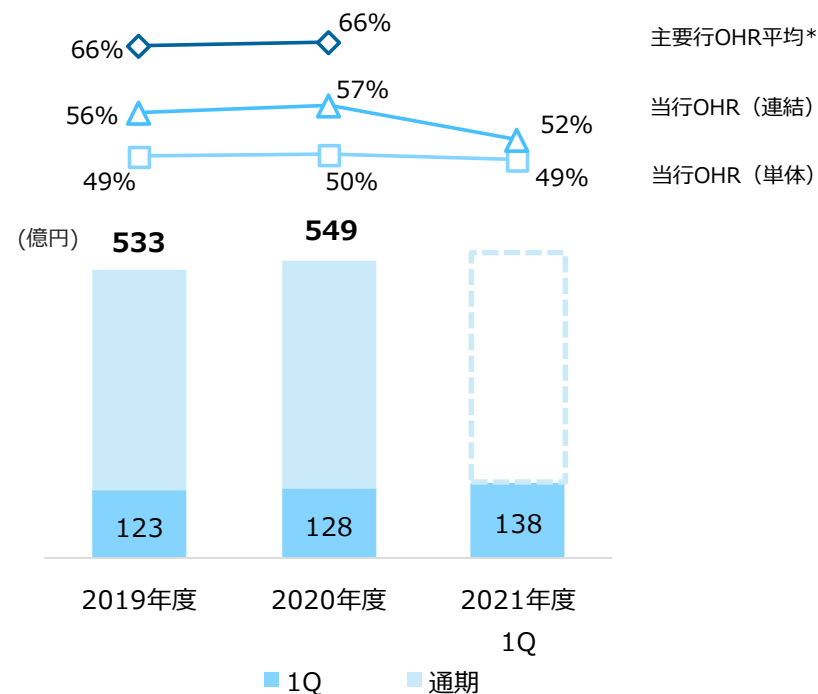
# 経費

- ◆ 経費は前年同期比10億円増の138億円。通期計画に対して24.6%の進捗
  - ニューヨーク現地法人の開業に伴う人件費の増加、およびシステム関連投資の経費が増加
- ◆ 連結粗利益が好調だったことにより、OHRは連結ベースで51.8%、単体ベースで48.9%

## 経費内訳

(単位：億円)	2020年度	2021年度	増減額 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
<b>経費 (A)</b>	<b>128</b>	<b>138</b>	<b>+10</b>
人件費	59	63	+4
物件費	59	64	+4
うち、IT関連費	22	25	+3
税金	9	11	+1
<b>連結粗利益 (B)</b>	<b>213</b>	<b>267</b>	
<b>OHR (A) / (B)</b>	<b>60.0%</b>	<b>51.8%</b>	

## 経費・OHR推移



\* 主要行：MUFG、SMFG、みずほFG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行

# 与信関連費用

- ◆ 与信関連費用は20億円の利益（前年同期は1億円の利益）
  - 要注意先を中心とした海外貸出の格上げや、米国不動産市場の回復に伴う海外不動産ノンリコースローンの回収による一般貸倒引当金の戻入等により、20億円の利益
- ◆ 貸出金残高に対する貸倒引当金の比率は1.58%と十分な水準を維持
  - 海外貸出に対する貸倒引当金の比率は約2.4%

(単位：億円)	2020年度	2021年度	増減額 B - A
	4-6月期 A	4-6月期 B	
<b>与信関連費用</b>	<b>1</b>	<b>20</b>	<b>+18</b>
貸出金償却	-6	-4	+1
貸倒引当金	9	23	+14
個別貸倒引当金	-18	-14	+4
一般貸倒引当金	28	38	+10
債権売却損益等	-2	-	+2
償却債権取立益	0	1	+0
オフバランス取引信用リスク引当金	1	-0	-1

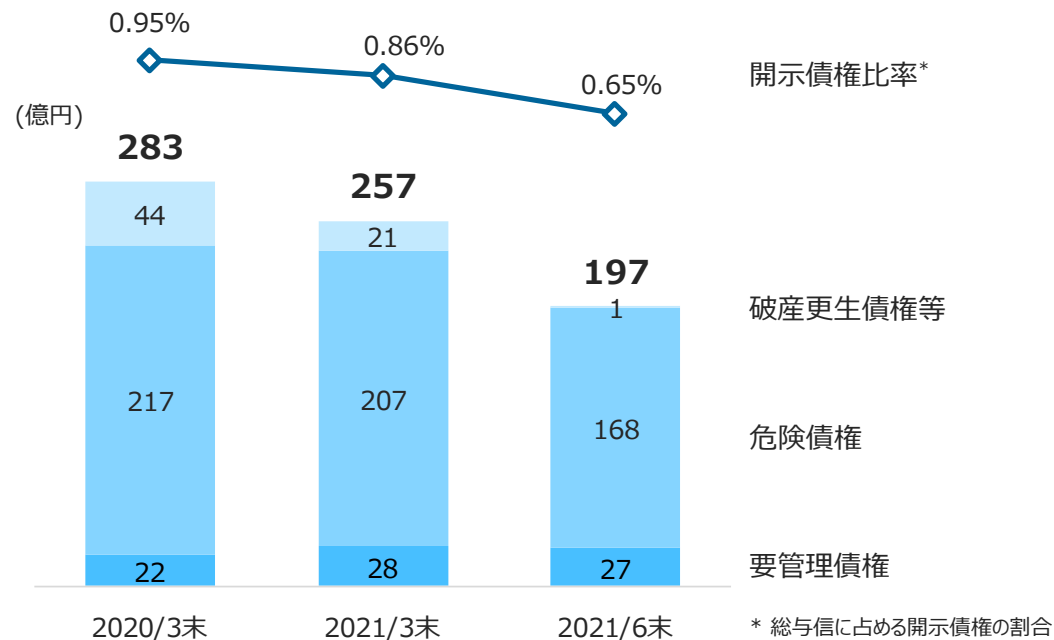
## 貸出金残高に対する貸倒引当金比率

(単位：億円)	2021年	2021年
	3月末	6月末
貸倒引当金残高(A)	508	470
一般貸倒引当金残高(B)	401	363
貸出金残高(C)	29,488	29,660
(A) / (C)	1.72%	1.58%
(B) / (C)	1.36%	1.22%

# 金融再生法開示債権（単体）

◆ 金融再生法開示債権比率は0.65%（2021年3月末比0.21ポイント低下）

➤ 開示債権は、問題債権の処理等により2021年3月末比60億円減少



(単位：億円)	2020/3末	2021/3末	2021/6末
保全額	275	228	184
貸倒引当金	152	122	122
担保保証等	123	106	61
保全率	97.1%	88.8%	93.5%

# バランスシートの概要

◆ 総資産は6兆640億円（2021年3月末比1,471億円増）。純資産は5,121億円（2021年3月末比221億円増）

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 6月末 B	増減額 B - A
貸出金	29,488	29,660	+172
有価証券	13,933	14,041	+108
現金預け金	9,501	10,102	+601
特定取引資産	1,546	1,375	-170
その他	4,699	5,460	+760
<b>資産の部</b>	<b>59,168</b>	<b>60,640</b>	<b>+1,471</b>

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 6月末 B	増減額 B - A
預金・譲渡性預金	40,125	42,539	+2,414
社債	1,983	1,852	-131
借入金	3,497	3,530	+32
債券貸借取引受入担保金	4,316	3,797	-519
特定取引負債	1,404	1,191	-212
その他	2,940	2,607	-333
<b>負債の部</b>	<b>54,268</b>	<b>55,519</b>	<b>+1,250</b>
<b>純資産の部</b>	<b>4,900</b>	<b>5,121</b>	<b>+221</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>59,168</b>	<b>60,640</b>	<b>+1,471</b>

# 貸出 - 全体・国内業種別 -

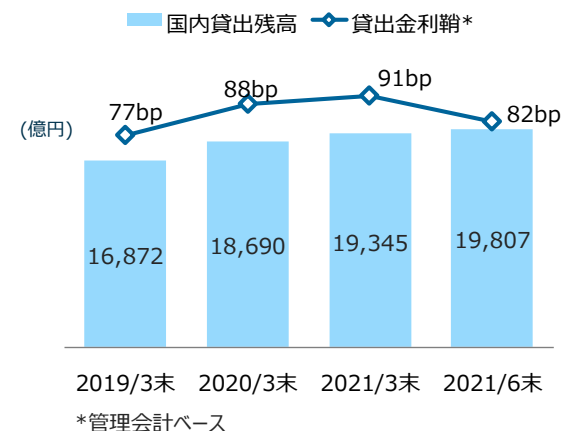
◆ 貸出金残高は2021年3月末比172億円増加し2兆9,660億円。うち国内向け貸出は461億円の増加

(単位：億円)		2021年 3月末 A	2021年 6月末 B	増減額 B - A
<b>貸出金残高</b>	<b>(A)</b>	<b>29,488</b>	<b>29,660</b>	<b>+172</b>
国内向け貸出		19,345	19,807	+461
海外向け貸出*	(B)	10,142	9,853	-289
	(B) / (A)	34.4%	33.2%	-

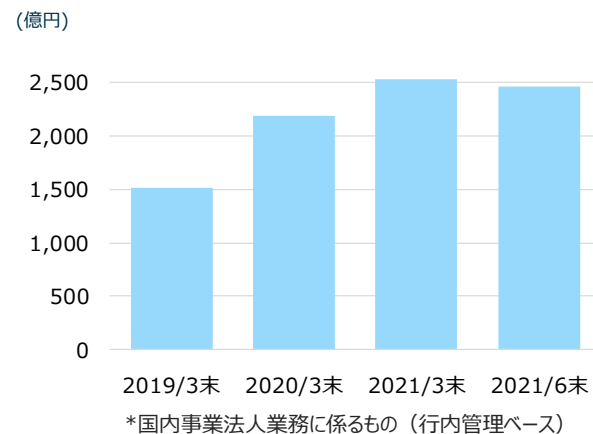
\* 海外向け貸出は最終リスク国が日本以外のもの

				シェア
<b>国内 (除く特別国際金融取引勘定分)</b>	<b>23,293</b>	<b>23,548</b>	<b>+254</b>	<b>79%</b>
製造業	2,122	2,012	-110	7%
情報通信業	1,131	1,108	-22	4%
運輸業・郵便業	357	346	-11	1%
卸売業・小売業	718	701	-17	2%
金融業・保険業	3,635	3,695	+59	12%
不動産業	6,260	6,430	+169	22%
うち、ノンリコースローン	3,428	3,494	+65	12%
物品賃貸業	757	794	+37	3%
その他サービス業	1,860	1,756	-104	6%
その他	6,448	6,702	+254	23%
うち、海外（本店ブック）	4,214	3,981	-233	13%
<b>海外及び特別国際金融取引勘定分</b>	<b>6,194</b>	<b>6,112</b>	<b>-82</b>	<b>21%</b>
<b>合計</b>	<b>29,488</b>	<b>29,660</b>	<b>+172</b>	<b>100%</b>

## 国内貸出・貸出金利鞘



## LBOローン・プロジェクトファイナンス残高\*推移



# 貸出 - 海外向け -

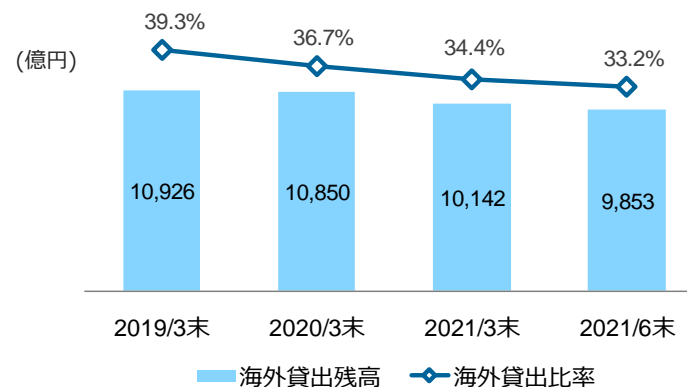
◆ 海外向け貸出は9,853億円（2021年3月末比289億円減少、米ドルベースでは247百万ドルの減少）

➢ 新規案件の積み上げを進める一方、北米コーポレートローンのプリペイメントや海外不動産ノンリコースローンの回収により残高がやや減少

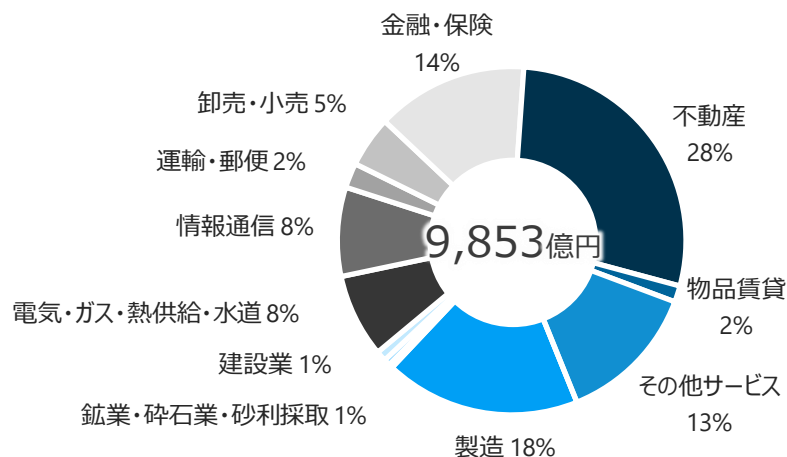
(単位：億円)		2021年 3月末 A	2021年 6月末 B	増減額 B - A
貸出金残高 (A)		29,488	29,660	+172
<b>海外向け貸出 *</b> (B)		<b>10,142</b>	<b>9,853</b>	<b>-289</b>
	(B) / (A)	34.4%	33.2%	-
米ドルベース (単位：百万\$)		9,160	8,912	-247
為替レート (US\$/¥)		¥110.72	¥110.55	¥-0.17

\* 最終リスク国が日本以外のもの

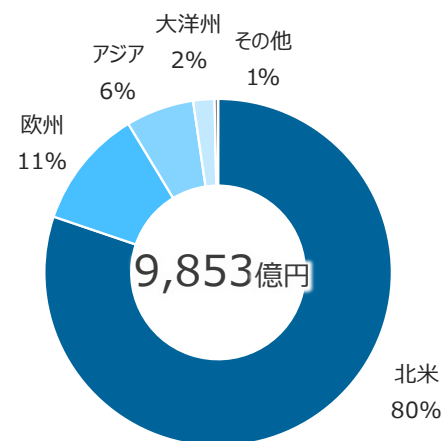
## 海外貸出残高・比率



## 業種別



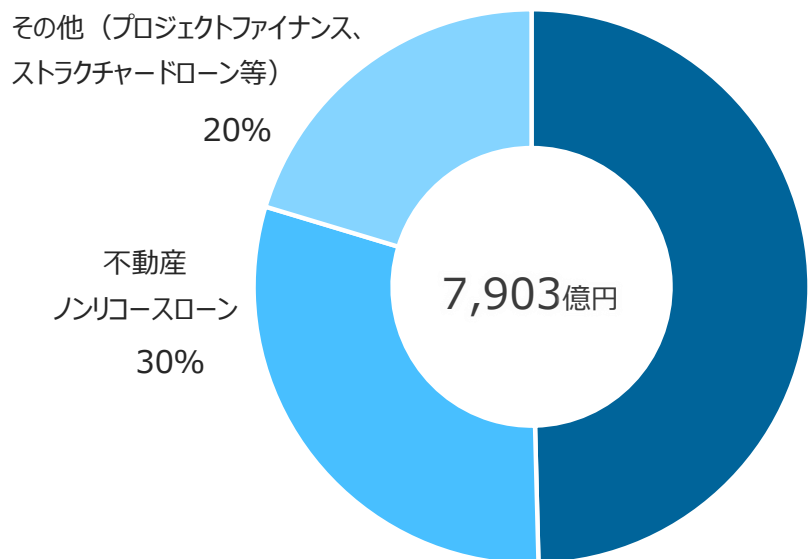
## 地域別



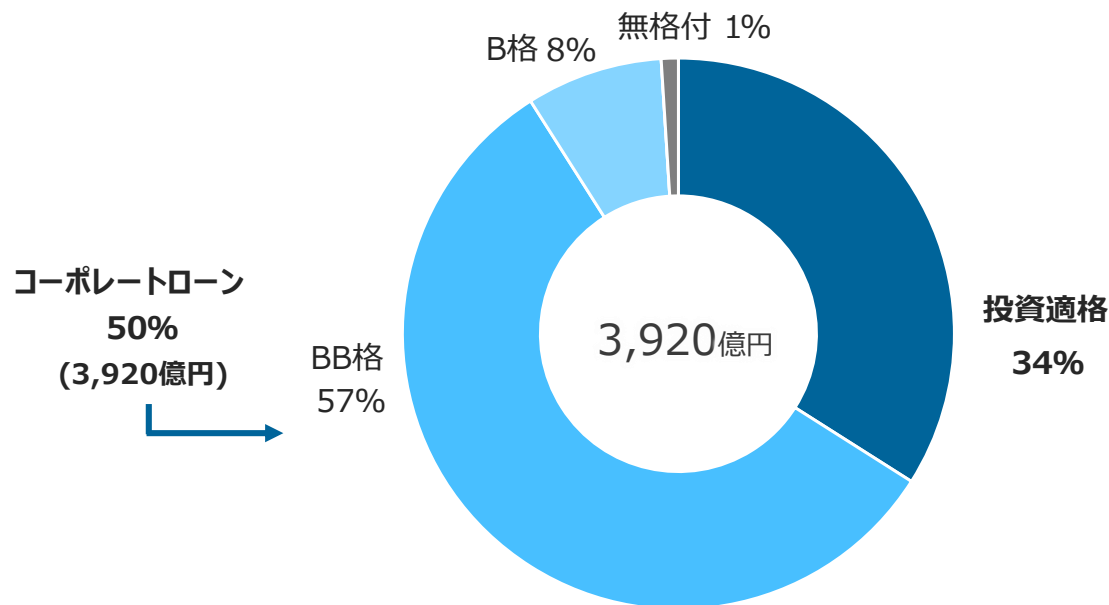
# 貸出 - 北米向けコーポレートローン -

- ◆ 北米向けコーポレートローンの残高は3,920億円（2021年3月末比98億円減）
  - 案件の着実な積み上げを進める一方、経済活動の回復により約800億円のプリペイメントが発生
  - 投資適格の割合は2021年3月末比3%増加の34%

## 北米ローン内訳



## 北米コーポレートローン格付分布\*

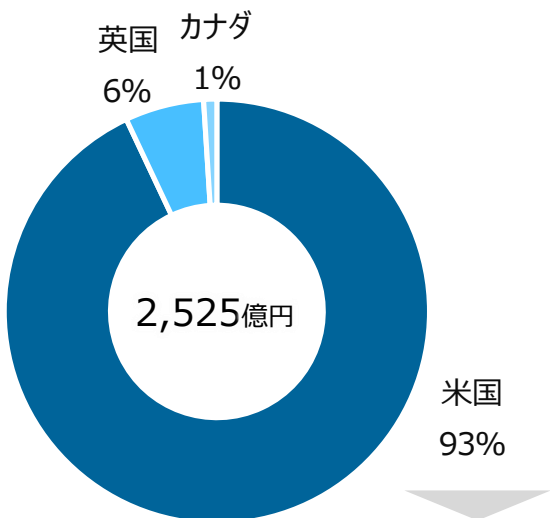


\* 格付：S&P/ファシリティベース

# 貸出 — 海外不動産ノンリコースローン —

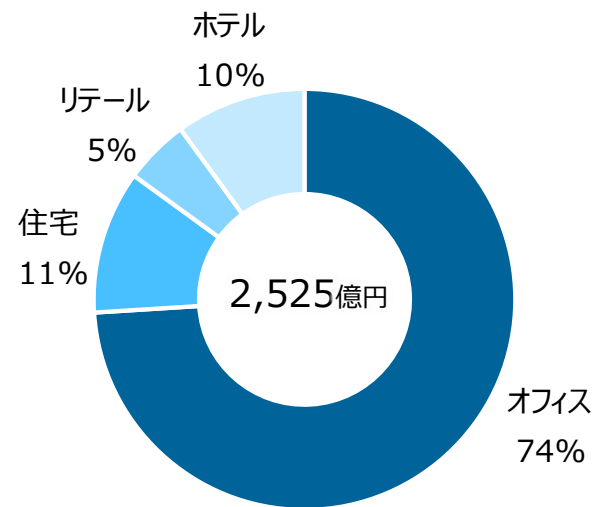
- ◆ 海外不動産ノンリコースローンの残高は2021年3月末比167億円減少
  - ワクチン接種の進展等による米国不動産市場の回復に伴い、貸出の回収が進捗

## 地域別



都市	構成比
ニューヨーク	27%
ロサンゼルス	12%
ワシントン D.C.	12%
シカゴ	8%
アトランタ	6%
サンフランシスコ	5%
マイアミ	4%
ミネアポリス	4%
フィラデルフィア	3%
アーリントン	3%
その他11都市	16%

## 用途別



## 当行の海外不動産ノンリコースローン取り上げ基準

- ◆ 対象は担保付きのシニアローン。メザンローンやコンストラクションローンは取り組み対象外
- ◆ 管理能力に優れたスポンサー、実績を有する有力銀行によるアレンジ案件
- ◆ 米国現地の鑑定事務所による評価書（第三者鑑定評価）に基づくLTVは65%以下

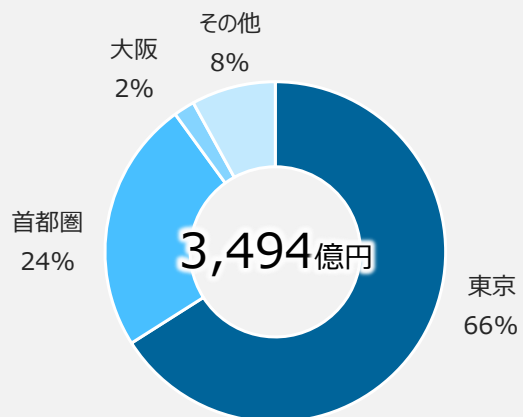


# 貸出 – 国内不動産ノンリコースローン –

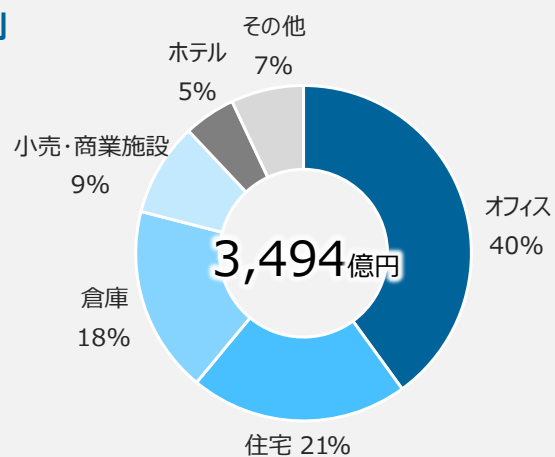
◆ 国内不動産ノンリコースローンの残高は3,494億円（2021年3月末比65億円増）

➢ 倉庫案件の割合は2021年3月末比2%増、オフィス案件は同3%減

## 地域別

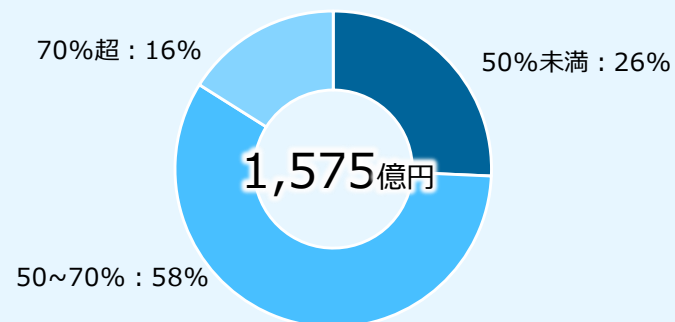


## 用途別

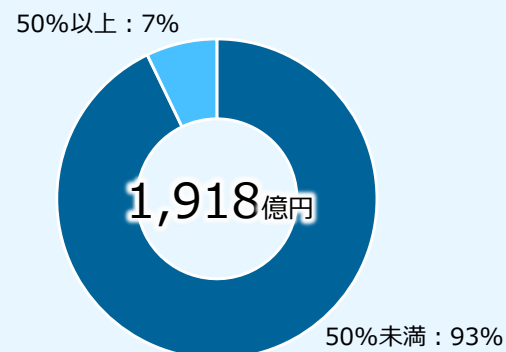


## LTVの状況

### 不動産NRL (除くREIT)



### REIT

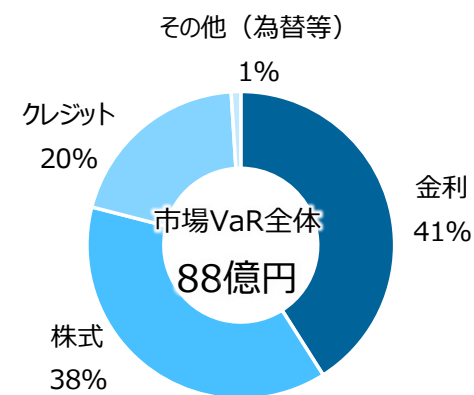


# 有価証券

- ◆ 有価証券残高は1兆4,041億円（2021年3月末比108億円増）
- ◆ ヘッジ手段の評価損益を含めたネット評価損益は600億円（2021年3月末比171億円増）

	貸借対照表計上額			評価損益		
	2021年 3月末 A	2021年 6月末 B	増減額 B - A	2021年 3月末 C	2021年 6月末 D	増減額 D - C
(単位：億円)						
国債	377	400	+22	2	4	+1
地方債	1,451	1,635	+183	-3	0	+3
社債・短期社債	1,178	1,348	+169	9	11	+2
株式	274	289	+15	204	213	+8
外国債券	6,005	5,541	-463	-45	17	+63
外国国債	2,832	2,445	-386	-33	6	+39
モーゲージ債	2,138	2,104	-34	-47	-24	+22
その他	1,034	991	-42	35	36	+1
その他有価証券	4,646	4,826	+180	266	358	+92
ETF	1,645	1,680	+35	-9	28	+37
組合出資	949	997	+48	26	31	+5
REIT	727	770	+42	83	113	+29
投資信託	1,031	1,039	+7	112	125	+12
その他	292	340	+47	53	60	+6
<b>合計</b>	<b>13,933</b>	<b>14,041</b>	<b>+108</b>	<b>434</b>	<b>606</b>	<b>+172</b>
ヘッジ手段の評価損益を含めた有価証券評価損益				428	600	+171

## 市場リスク（VaR）の状況



米金利リスク（10BPV）は  
2021年6月末時点で▲29億円

# 調達

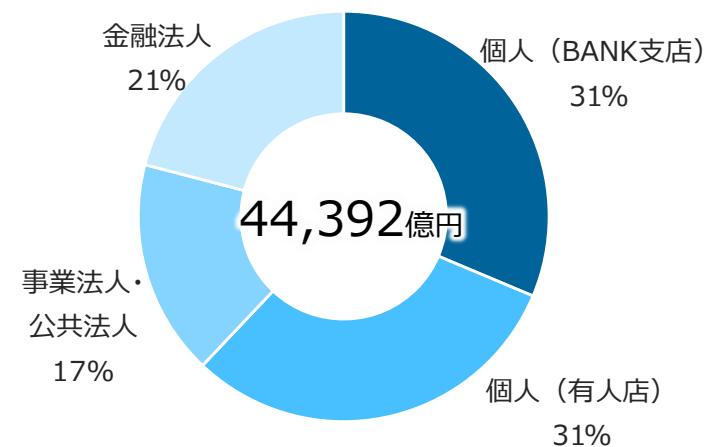
◆ コア調達は4兆4,392億円（2021年3月末比2,283億円増）

➢ 個人のお客さまの顧客基盤がBANK支店を中心に拡大

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 6月末 B	増減額 B - A
<b>コア調達計</b>	<b>42,108</b>	<b>44,392</b>	<b>+2,283</b>
預金・譲渡性預金	40,125	42,539	+2,414
社債	1,983	1,852	-131
個人調達比率 *	61%	62%	
預貸率	73%	70%	

\* 当行内指標。個人調達比率 = 個人預金 / コア調達

## 顧客層別



# 主要業績指標

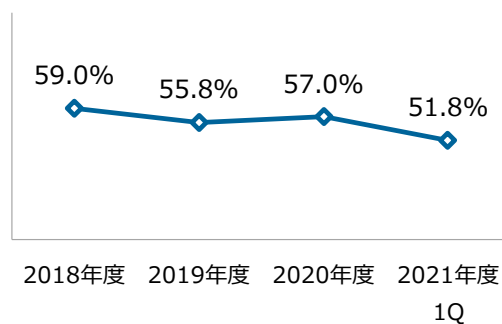
	2020年度 実績	2021年度 第1四半期実績	中期目標 (2020~2022年度)	(参考) 2020年度通期 主要行平均 <sup>*3</sup>
経費率 (OHR)	57.0%	<b>51.8%</b>	50%台前半	66.3%
業務純益 <sup>*1</sup> ROA	0.8%	<b>0.9%</b> <sup>*2</sup>	1%程度	0.4%
ROE	6.3%	<b>9.3%</b> <sup>*2</sup>	8%以上	4.9%

\*1 持分法投資損益を含む連結実質業務純益

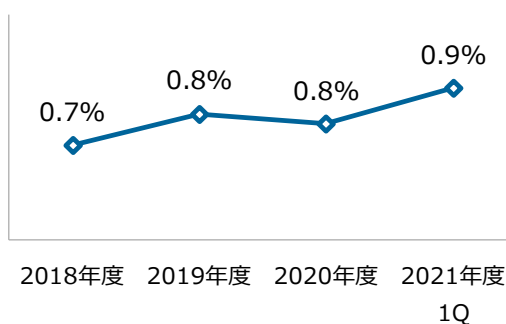
\*2 年換算ベース

\*3 主要行：MUFG、SMFG、みずほFG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行

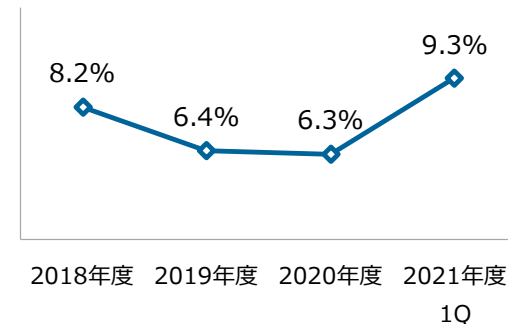
## 経費率(OHR)



## 業務純益ROA



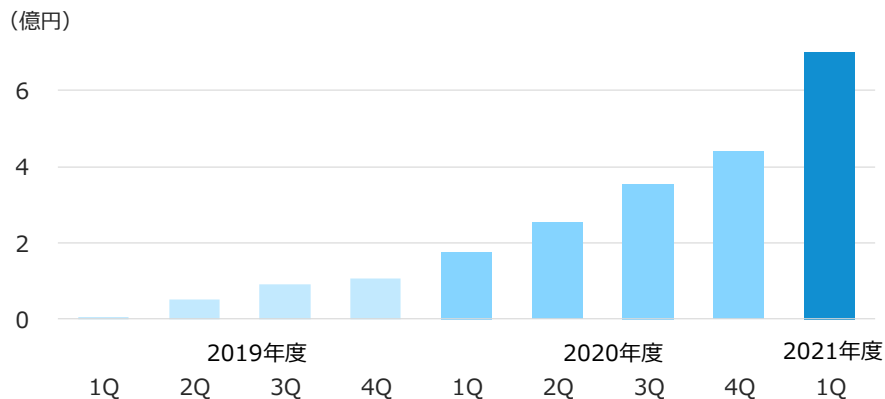
## ROE



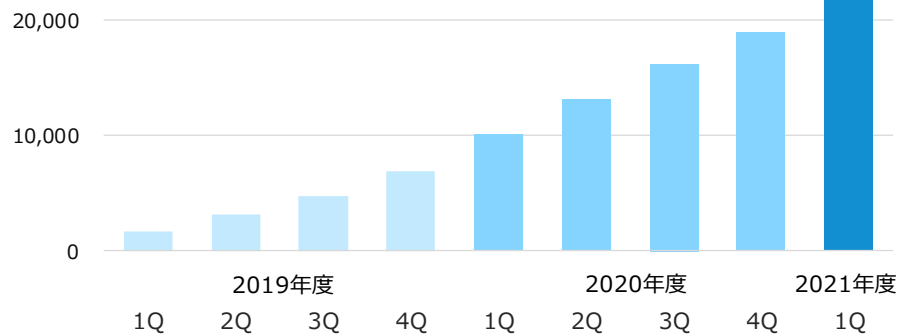
# GMOあおぞらネット銀行（GANB）

◆ 第1四半期は粗利益、法人口座数ともに順調に伸長。業務純益は▲7億円と、計画を上回る進捗

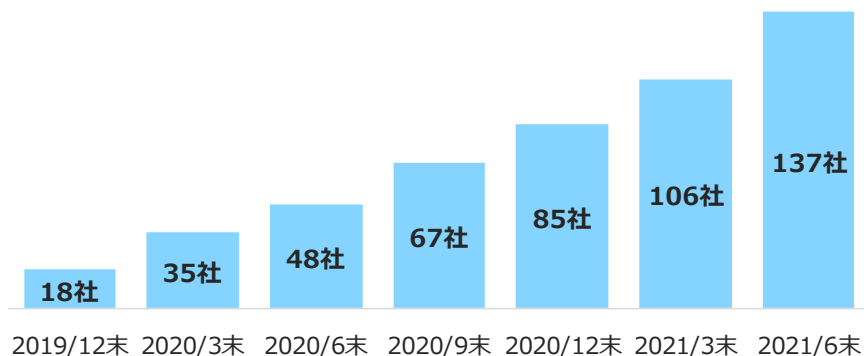
## 四半期毎粗利益推移



## 法人口座数推移



## API接続契約社数



## 中長期戦略における3つの柱

### ◆ スモール&スタートアップ向け銀行No. 1

- 少額自動立替「あんしん10万円」
- 入出金アプリ「free入出金管理 with GMOあおぞらネット銀行」
- ビジネスサポートサービスの拡充
- 法人口座の即日開設

### ◆ 組込型金融サービスNo.1

- かんたん組込型金融サービス
- デジタルビジネスガレージ“ichibar”

### ◆ テックファーストな銀行No.1

- エンジニアファーストの視点に立ち、法人のお客さまのDXをサポート

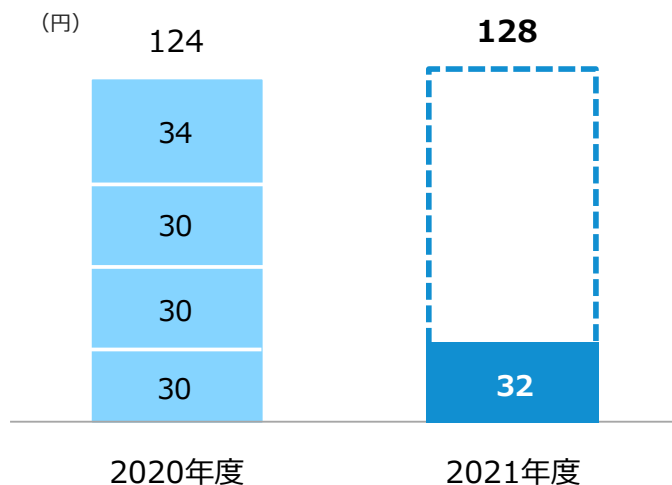
# 配当の状況

- ◆ 第1四半期配当は、1株当たり32円、年間配当予想128円の四分の一にて決定
- ◆ 引き続き四半期ベースでの配当支払いを継続

## 1株当たり配当金

基準日	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
配当予想 (2021年度)		—	—	—	<b>128円*</b>
当期実績 (2021年度)	32円				

## 配当金額



\* 当行は、配当性向を50%とし業績に応じた還元を行うことを中長期的な配当方針としておりますが、今後の経済環境ならびに当行の業績動向を踏まえ、年間配当予想128円を念頭に柔軟に対応していきます。配当予想については、年間の配当金額のみ公表しておりますが、引き続き四半期での配当支払いといたします。

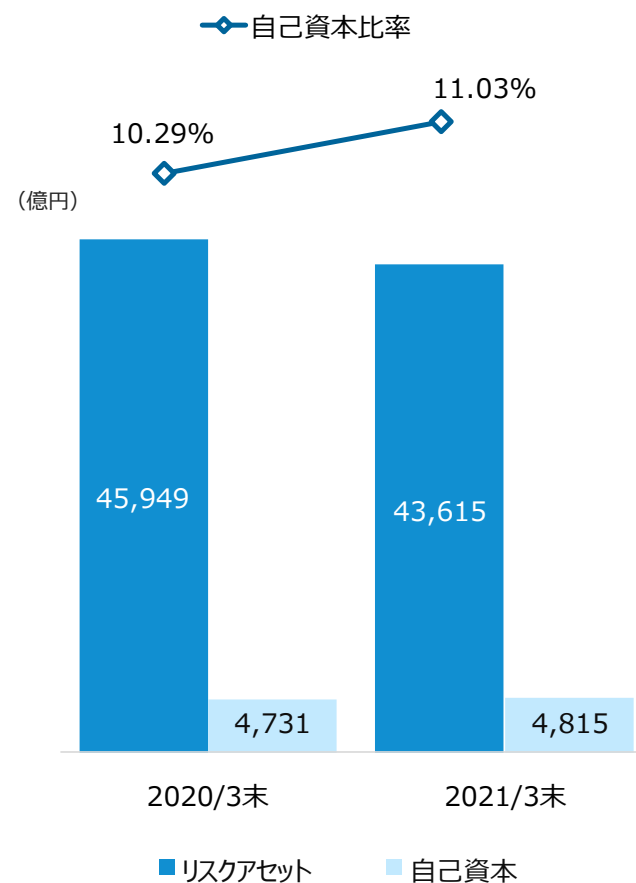
(注) 2021年度の配当予想については、連結親会社株主純利益の業績予想の50%を配当総額とし、2021年3月末の発行済株式数（自己株式を除く）で除した額を基礎として1株当たり年間配当128円と予想額を算出しております。

# 参考：自己資本比率（2021年3月末）

◆ 自己資本比率（国内基準）は引き続き十分な水準を維持する見込み（8月中旬公表予定）

## 国内基準

(単位：億円)	2020年	2021年	増減額
	3月末 A	3月末 B	B - A
自己資本比率	10.29%	11.03%	+0.74 %
自己資本 (A - B)	4,731	4,815	+83
基礎項目 (A)	4,883	5,053	+169
株主資本	4,492	4,638	+145
その他	391	414	+23
調整項目 (B)	152	238	+85
リスクアセット	45,949	43,615	-2,333
信用リスク・アセット	40,651	38,535	-2,115
マーケットリスク・アセット	3,801	3,557	-244
オペレーショナルリスク・アセット	1,496	1,522	+25



## 参考：損益の概要（単体）

	(単位：億円)		2020年度 4-6月期		2021年度 4-6月期		B - A		2021年度	
	A	B	増減額	増減率	業績予想	進捗率				
業務粗利益	204	227	+22	+10.8%	870	26.1%				
業務純益（一般貸引繰入前）	100	115	+15	+15.7%	420	27.6%				
経常利益	100	137	+37	+37.3%	420	32.9%				
当期純利益	81	101	+20	+25.3%	290	35.0%				



# 参考：連単差の内訳

(単位：億円)

<b>A 単体当期純利益</b>	<b>101</b>
<b>B 親会社株主純利益</b>	<b>115</b>
<b>B-A (a+b) 連単差</b>	<b>14</b>

## 連単差の内訳

<b>a 連結子会社・関係会社</b>	<b>5</b>
---------------------	----------

	業務内容	所有割合 <sup>*1</sup>	当期純利益
GMOあおぞらネット銀行 (GANB)	インターネット銀行	50.0% <sup>*2</sup>	-8
あおぞら債権回収	債権管理回収	67.6%	0
あおぞら証券	金融商品取引	100.0%	9
あおぞら地域総研	経営相談	100.0%	0
あおぞら投信	投資運用	100.0%	0
あおぞら不動産投資顧問	投資助言	100.0%	-0
ABNアドバイザーズ	M&Aアドバイザー	100.0%	0
あおぞら企業投資	ベンチャーキャピタル	100.0%	0
Aozora Asia Pacific Finance Limited	金融 (香港)	100.0%	-4
Aozora Europe Limited	金融 (ロンドン)	100.0%	0
Aozora North America, Inc.	金融 (ニューヨーク)	100.0%	3
AZB Funding	SPC	100.0%	-2
Aozora GMAC Investment Limited	投融資	100.0%	-0
Orient Commercial Joint Stock Bank	商業銀行 (ベトナム)	15.0%	5 <sup>*3</sup>

<b>b 連結調整</b>	<b>8</b>
---------------	----------

非支配株主に帰属する当期純損益 (GANB)	4
その他	4

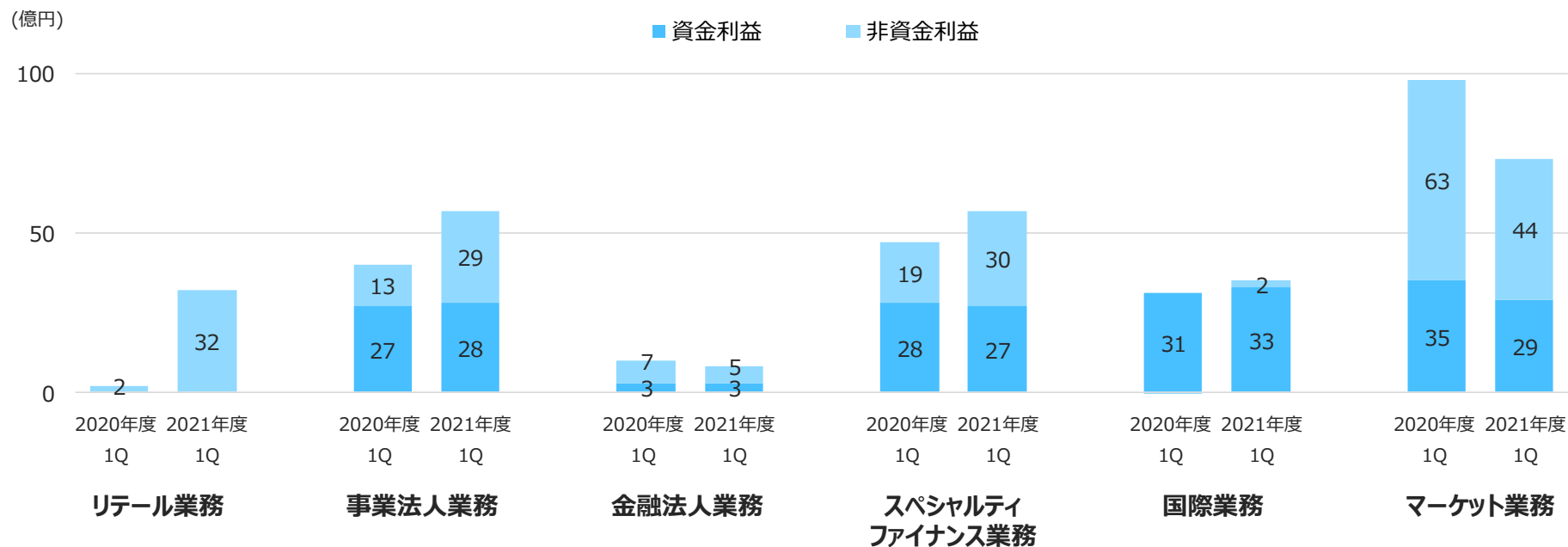
\*1 親会社の損益に帰属する割合

\*2 議決権所有割合は85.1%

\*3 持分法損益の取込額

# 参考：業務別実績

## 業務別連結粗利益\*



\* 管理会計ベース、部門外利益は含まない

\* 当第1四半期より業務別損益の算定方法を変更。前年度第1四半期の業務別損益についても、変更後の算定方式に基づき作成

## < ご連絡先 >

株式会社 あおぞら銀行

コーポレートコミュニケーション部

電話: 03-6752-1218

FAX: 03-6752-1434

URL: <https://www.aozorabank.co.jp>

梶谷: [h.kajitani@aozorabank.co.jp](mailto:h.kajitani@aozorabank.co.jp)

松浦: [m.matsuura@aozorabank.co.jp](mailto:m.matsuura@aozorabank.co.jp)

松本: [j.matsumoto@aozorabank.co.jp](mailto:j.matsumoto@aozorabank.co.jp)

安達: [y2.adachi@aozorabank.co.jp](mailto:y2.adachi@aozorabank.co.jp)

園田: [k1.sonoda@aozorabank.co.jp](mailto:k1.sonoda@aozorabank.co.jp)

当資料には、当行の財務状況や業績など将来の見通しに関する事項が含まれています。こうした事項には当行における将来予想や前提が含まれており、一定のリスクや不確実性が生じる場合があります。具体的には、経済情勢の変化や金利・株式相場・外国為替相場の変動、およびそれらに伴う保有有価証券の価格下落、与信関連費用の増加、事務・法務その他リスクの管理規則の有用性などにより、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません